

## 理事長室から

木下 統晴



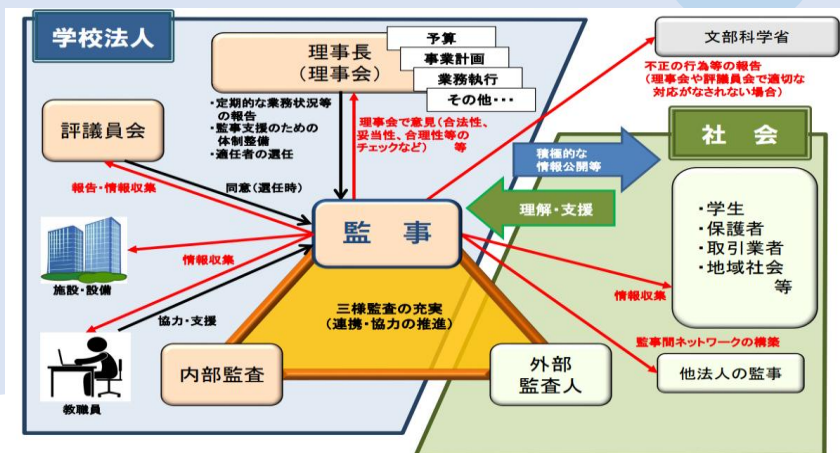
## 改正私学法のインパクト

日本の私学では6月から改正私学法に則った学校経営が進められます。2021年3月に理事長就任以来、本学のガバナンス体制を整えることに注力してきました。1年目は大学の状況を確認するため、5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）などについて、試行してもらいましたが、企業に比べると、まだまだ改善の余地があるという感じてした。

2022年に、3年で経営基盤を整えると宣言し、行政、一部上場企業、更に、KMBからトップクラスの方3人を招聘し、大学の改革に努めました。まず、よく形骸化と言われる理事会等の会議体を活発な議論の場に変えました。現在、この方針で理事会、評議員会、並びに新たに設置した常勤理事会、ボードミーティングを進めています。更に、現場と経営の風通しをよくするための内部監査室や監事の体制を整えました。改正私学法は日本の私学のガバナンスを強化

するための法律です。全員がその意味を理解し、それを活用することが要点となります。その他には、現場主義、スピードの重視、内部及び外部の広報力強化、包括連携協定、健康・スポーツ教育研究センター、共同研究講座、高校との連携など、人口動態などから保健科学の重要性を考え、未来を予測しながら進めました。

3月に教職員の皆様にアンケートをお願いしましたが、これからの大学経営には、とても役立つご意見が多く集まりました。ありがとうございます。このアンケートを経営に役立てて参ります。大学が一致して良い教育・研究を構築し、素晴らしい人財の育成に励みましょう。文部科学省のホームページにある資料を添付します。ガバナンス構造が一目で分かる図ですので、これを参考に、改正私学法の円滑な導入に対応していきましょう。



## 6年ぶり新入生歓迎会

## 作業療法学専攻 大縄跳びに歓声

リハビリテーション学科作業療法学専攻の新入生歓迎会が4月30日（水）、アリーナで行われました。新型コロナウイルス感染拡大で中断しており、6年ぶりの開催となりました。

グループに分かれての自己紹介の後、クイズ大会や伝統の学年対抗大縄跳び大会を行いました。大縄跳び大会の優勝は2年生でした。

4年生の実行委員が約2カ月かけて準備し、3年生と2年生の有志も実行委員として4年生をサポート。学年を超えた学生間の交流が深まりました。来年以降も恒例行事として続いてほしいと思います。（リハビリテーション学科作業療法学専攻 山野克明）



クラスの名誉(?)をかけて大縄跳び大会

アカデミックスキル  
支援センター

レポート

Ⅰ年次生の全学必修科目「アカデミックスキルⅠ」恒例の基調講義が4月第4週から5月第3週にかけてあり、河瀬晴夫事務局長と久保田憲寿入試・広報課長が教壇に上がりました。アカデミックスキル支援センターによる教・職一体の取り組みで、入学間もない学生たちに、早い段階から目標を立て、学びに対する構えをつくってもらうのが狙い。

河瀬局長は「大学生の学修マインド」と題して、「学習」から「学修」への学びのスタイルの転換を促しました。また、本学が掲げる四綱領（知識・技術・思慮・仁愛）と卒業認定・学位授与方針（ディプロマポリシー）を紹介。「どのような医療人になりたいのか」という目標設定の大切さを説きました。グループワークを随所に取り入れ



授業中、和やかな表情で学生たちとやりとりする河瀬事務局長（写真左）と久保田入試・広報課長

## 学びの構えづくりへ 教・職一体

### 河瀬事務局長、久保田課長が「基調講義」

た授業では、学生とのやり取りも活発で、学生たちは「自分自身に対する宣言文」を作成しました。

一方、久保田課長は「伝える力」をテーマに講義。すべての医療・福祉施設が採用試験で履歴書提出と面接を実施、小論文・作文を課す施設も半数以上に上っているとし、「就活を勝ち残るためには伝える力が重要」と力説しました。結論から話す、全体像をイメージさせる、数字を使うといった「伝える」ためのコツを紹介。「『伝える力』は目標達成のための手段。したがって、目標を持つことが大切」と締めくくりました。

基調講義は後期のアカデミックスキルⅡでもあり、竹屋元裕学長らが講義する予定です。（NL編集部）

## 閑話休題

高橋 元秀

春になると…

5月に入り、本学ではクールビズが始まりました。

クールビズは、地球温暖化対策として、軽装などで体感温度を下げるなどを通じて、エネルギー使用量を減らし二酸化炭素排出を抑制する省エネルギー運動です。本学では、電力使用量の抑制による経費抑制の観点からも取り組みを実施します。

10月31日までの期間、①学内では「ノーネクタイ・ノー上着」、②空調管理の徹底（本学設定温度は、夏28℃以上、冬20℃以下）、③電源ON・OFFの徹底を遵守しましょう。

（NL編集部）

川沿いに並ぶ田んぼの土手側には鹿児島本線が走り、その向こうには舗装路。中央に広がる田植え前の田んぼには、レンゲソウが盛り、頭の上は澄んだ青空…。里の谷に、存在感のある円形の我が大学。正門両脇の道路沿いは風に舞い始める満開の桜、春の光に包まれ、白い校舎は楓の若葉に包まれる。

この地に来て7年、例年4月の風景には心が和む。朝、2両編成のローカル線から降りてくる新入生たちは、どこかぎこちなくて特定しやすい。少し緊張した顔で構内へと向かう足取りは、巣立ち直後の若雀と重なる。

開け放した大窓からの風に吹かれ新緑を眺め、ふと自分の学生時代を思い出す。不安と期待を胸に入学したが、学園闘争の最中、1年生時代は渋谷と新宿の街中を歩いていた。あれから半世紀。熊本の地で研究生活を送る今、書棚には歩んできた研究分野の書籍が並ぶ。それでも春になると、何かが始まるような気がしてならない。

腕時計は大学時代を最後に外した生活を送っている。結婚指輪も数日後には同様に外した記憶。微生物を扱う試験や作業で手洗いが頻繁なことで、余計な飾り物は身に着けない習慣となった。腕時計なしで半世紀、困ったことはなし。最近、体内時計はやたら正確になった。朝5時には自然に目が覚める。何か良いことがありそうで…。The early bird catches the worm.  
（生物毒素・抗毒素共同研究講座特命教授）

# 鶴屋百貨店バスケットボール部

## シーズン開幕控えラボテスト

本学と包括連携協定を締結している鶴屋百貨店バスケットボール部のラボラトリーテスト（全身弛緩性など全9項目）を4月18日（金）、本学アリーナで実施しました。

鶴屋バスケットボール部は健康・スポーツ教育研究センターの枝尾久美講師が、一昨年度まで21年間トレーナーとして携わったチームです。昨年度から後任者に引き継がれ、新体制のチームとなっています。

この日は、センター教員の指導の下、理学療法学専攻スポーツリハビリテーションコースの学生17人と大学院リハビリテーション領域の院生3人が中心となり、シーズン開幕を間近に控える10人の部員に対して各種測定を行いました。新2年生の中には、実際に選手を対象とした測定が初めての学生もあり、前日から入念な練習を行い、本番に臨みました。

本取り組みでは、ラボテストを介して熊本保健科学大学が選手個々の状態を“可視化”し、その結果を基に鶴屋バスケットボール部が実践的なトレーニングに繋げるといふ、科学的根拠に基づい

たサポート体制を築いています。昨年度は、測定結果から各選手に合わせた障害予防のメニューが立てられ、1人もけが人を出すことなくシーズンを終えることができました。（健康・スポーツ教育研究センター 中村祐貴）



入念に選手（左）の体位などをチェックする学生たち

## インフォメーション

### 8月2、3日 防災士養成研修プログラム

#### 参加者募集

防災・減災教育支援室では、防災士の資格取得を希望する一般の方を対象に8月2、3日に実施する「防災士養成研修プログラム 一般コース」の受講者を募集しています。

教職員の皆さんの家族や知り合いで、防災士に興味がある方がいらっしゃいましたら、この機会にぜひご案内していただければ幸いです。

【開催期日】8月2日（土）、3日（日）＝※予備日8月10日（日）、11日（月）

【会場】熊本保健科学大学1号館

【対象者】「防災士」資格取得を希望する一般の方（18歳以上）で、8月2日・3日の2日間の全てのプログラムを受講可能な方。

【定員】30人程度。

【申込方法・締め切り】申し込みフォーム：<https://forms.gle/NiBbHNhDPtUm4l139>にアクセスし必要事項を記入の上、7月13日（日）までに2万5000円（学生は2万円＝防災士教本代、受験料、認証登録料、資料代、事務手数料含む）をフォームの案内文に記載の口座に振り込んでください。

※詳細は本学ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



申し込みフォーム  
QRコード

#### 週間行事予定（5月12日～5月19日）

|                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| 5/14（水）         | 学友会総会                        |
| 5/15（木）         | 開学記念日                        |
| 5/19（月）～6/30（月） | 【オンデマンド】保護者会（看護3年、OT3年、ST2年） |